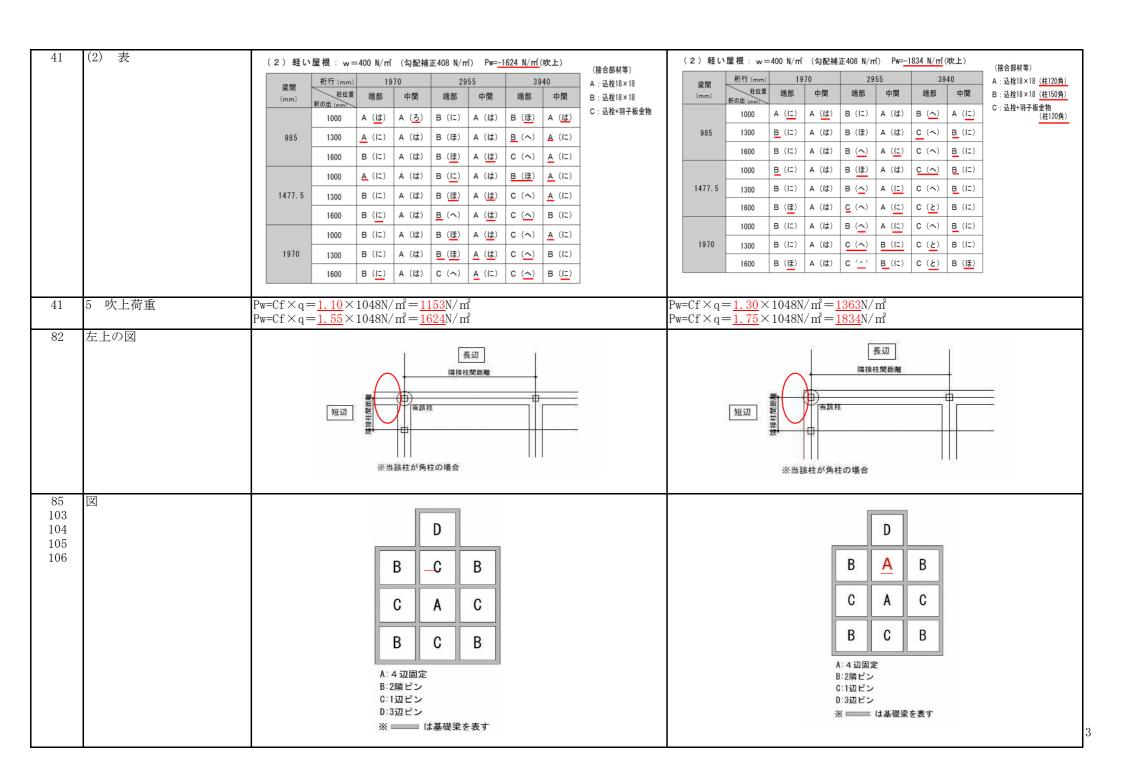
くまもと型伝統構法を用いた木造建築物設計指針・同解説 新旧対照表

ページ	箇所		改正				改正後							
目次	解説編 第2章	くまもと型伝統構法	を用いた木造建築	築物 <u>の</u> 設計指針	• 同解説	くまも	と型伝統構法	を用いた木造建築	築物設計指針・同	可解説				
3 161	1.3軸組の形式(2)②	柱脚の浮き上がりが	<u>ないこと。</u>			転倒し	<u>ないこと。</u>							
5 170	3.2構造階高 (1)1階の構造階高	1階の構造階高は、 までの高さによる。	<u>は礎の天端</u> から1	階躯体の桁・梁の	の上端と下端の中	心 1階の構造と下	1階の構造階高は、 <mark>足固めの上端と下端の中心</mark> から1階躯体の桁・梁の上端と下端の中心までの高さによる。							
6 177		同等以上の耐力を有	する仕様とする				同等以上の <u>剛性</u> を有する仕様とする							
7 183	4. 1柱(3)	「1.3架構形式」				「 <u>1.2(</u>	「1.2(1)2)部材寸法②通し柱」							
23	記号と固定荷重表(部材) の関係H2の部分	■Ⅲ床+ <u>+</u> ■Ⅵ内壁(2階下半分)+■1	VI内壁(1階上半	分)+IX積載荷重	■Ⅲ床	■Ⅲ床+■VI内壁(2階下半分)+■VI内壁(1階上半分)+IX積載荷重							
	記号と固定荷重表 (部材) の関係H2!の部分	■Ⅲ床+ <u>+</u> ■Ⅵ内壁(2階下半分)+■1	VI内壁(<u>2</u> 階上半	分)+IX積載荷重	■Ⅲ床	■Ⅲ床+■VI内壁(2階下半分)+■VI内壁(<u>1</u> 階上半分)+IX積載荷重							
	記号と固定荷重表 (部材) の関係D1!の部分	■Ⅷ1階床+■Ⅵ内壁	(<u>2</u> 階下半分)+]	X積載荷重		■ VIII 1 ³	■VIII1階床+■VI内壁(<u>1</u> 階下半分)+IX積載荷重							
26 28	ヤング係数E	スギ <u>700kN/c㎡</u> 、 t	:ノキ <u>900kN/c㎡</u>			スギ	スギ <u>7.0kN/m㎡</u> 、ヒノキ <u>9.0kN/m㎡</u>							
35	ヤング係数E	スギ <u>700kN/c㎡</u>				スギ	スギ <u>7.0kN/mm²</u>							
37	5(1)重い屋根	Pw=- <u>1153</u> N/㎡(庇吹	上)			Pw=- <u>13</u>	Pw=- <u>1363</u> N/㎡(庇吹上)							
37	(1)-2 表	(1)-2 垂木 (軒先部)	スパン表			(1)-	(1)-2 垂木(軒先部)スパン表							
		出寸法	1000	1300	1600		出寸法 間隔	1000	1300	1600				
		@ 328	A (イ)	<u>C</u> (1)	D (イ)		@ 328	A (1)	<u>B</u> (イ)	D (1)				
		@ 394	A (1)	<u>c</u> (1)	E (<u>1</u>)		@ 394	A (1)	<u>B</u> (イ)	E (<u>D</u>)				
		@ 492	A (1)	<u>D (イ)</u>	F (<u>1</u>)		@ 492	A (1)	С (П)	F (<u>□</u>)				
38	(2)軽い屋根	Pw=- <u>1624</u> N/㎡(庇吹	上)			Pw=- <u>18</u>	Pw=- <u>1834</u> N/㎡(庇吹上)							

38	(2)-2 表	(2)-2 垂木(軒先部)スパン表								(2)-2 垂木(軒先部)スパン表							
		間隔	出寸法	1000		1300		1600			出寸:	± 1	000	13	00	1600	
		@	328	A(<u>イ</u>)	<u>C (1</u>	()	D (<u>1</u>)			@328		A (<u>□</u>)	Ē	3 (口)	D	(<u>11)</u>
		@	394	A (<u>イ</u>)	C (<u>1</u>	()	<u>D (п)</u>			@394		A (<u>□)</u>	C	(<u>v)</u>	<u>E_</u>	<u>(11)</u>
		@	492	В (<u>1</u>)	D (F	1)	E (<u>□</u>)			@492		B (<u>/\)</u>	2	<u> (//)</u>	E	(<u>11)</u>
38	設計条件 箱の中	断面 「D:59	断面 「D:55mm×115mm」の次に、右を加える。							E:70mm×115mm F:85mm×115mm							
39	3風荷重 (Pw)	「軒高 7m以	【下」の次に	、右を	加える	0			最	最高の高さ 10m以下							
39	(庇面風圧係数) (外圧係数・内圧係数)	1)4.5/10勾	(庇面風圧係数) 1) 4.5/10勾配							(庇面風圧係数) 1) 4.5/10勾配							
40	(1) 表	(1)重い屋根: w=740 N/㎡ (勾配補正811 N/㎡) Pw= <u>-1153 N/㎡</u> (吹上) (接合部材等)							((1) 重い屋根: w=740 N/㎡ (勾配補正811 N/㎡) Pw= <u>-1363 N/㎡</u> (吹上) (接合部材等)							
		梁間 村行(mm) 柱位置		970	2955 3940 A: 込栓18×1			A: 込栓18×18	Ш	探間				2955 3940 端部 中間 端部 中間			込栓18×18 (柱120角)
		(mm) #T	<u>お出版</u> 端部 1000 A (い)	中间	新印 A (い)		(い) —	D: 20柱10×10		(mm)	軒の出 (mm)		M m m A (ろ)	中间	新印 A (は)	В;	込栓18×18 (柱150角) 込栓+羽子板金物
		985	1300 A (L)		A (L1)		(3) -			985	1300		- A (は)	_	A ((t)		(柱120角)
			1600 A (L)	_	A (<u>3</u>)		(3) -	-			1600		— A (は)	<u> </u>	A (<u>lt</u>)	_	
			1000 A (L)	_	Α <u>(ι)</u>	A	(3) -	-			1000	A (<u>3</u>) -	— A (<u>は</u>)	_	A (<u>lt</u>)	_	
		1477. 5	1300 A (<u>L\)</u>	_	A (<u>3</u>)	A	(<u>3</u>) –	-		1477.5	1300	A (3) -	— A (<u>は</u>)	_	A (<u>it</u>)	_	
			1600 A (<u>L)</u>	_	A (<u>3</u>)		(<u>3</u>) –						— A (<u>lt</u>)	_	A (<u>it</u>)		
		_	1000 A (<u>L)</u>	_	A (<u>3</u>)		(3) -			4072			— A (<u>は</u>)		A ((t)		
		1970	1300 A (L)		A (<u>3</u>)		(<u>3</u>) –			1970		A (3) -	- A (<u>は)</u> - A (は)		A (は)		
			1600 A (<u>L</u>)		A (<u>3</u>)		(<u>3</u>) —				1000	v (3)	A (II)		A (12)		



130	箱の中【仕様】3ポツ目	土壁仕様はくまもと型土壁施工マニュアルによる	土壁仕様はくまもと型土壁 <mark>等</mark> 施工マニュアルによる
		砂しっくいは、既調合のものとする。	<u> </u>
101	C. 砂しっくい (1) 材料		は、製造業者の仕様による。
153	図2.1※印	軸組み部材寸法は、指針 <u>1.3「架構形式」</u> を参照	軸組み部材寸法は、指針 <u>「1.2(1)2)部材寸法</u> を参照
168	表2.3タイトル	1階 <mark>下部</mark> の数量算定項目	1階 <u>床部</u> の数量算定項目
171	【解説】	「構造計算で使用する高さは、建築基準法上の高さと異なる寸法となる	※限界耐力計算を行う際の1階の階高は、「1階の構造階高」に「足固め
		ので注意すること。」の下に、右の文を加える。	高さ」を加えたものとなるので注意すること。 (図2.12参照)
171	図2.12中	左側の「軒高さ」	軒高さ <u>(上下梁の中心)</u>
171	図2.12中	限界耐力計算用階高	限界耐力計算用階高 <u>※</u>
187	図2.25中 一番左の図	自然石	自然石
190	表2.11 7ヤング係数	杉:7kN/m㎡、桧:9 <mark>K</mark> N/m㎡	杉:7kN/m㎡、桧:9 <u>k</u> N/m㎡
192	【解説】	 伝統構法の接手と仕口について 	1 伝統構法の継手と仕口について
194	4②イ	<u>イ スパン表を使用する場合は、蟻掛けの受梁は、断面欠損が大きいの</u> で採用しないこと。	削除
198	表2.15 垂木寸法	40mm×80mm, 40mm×100mm, 40mm×115mm, 55mm×115mm	40mm×85mm, 40mm×100mm, 40mm×115mm, 55mm×115mm, 70mm×115mm,
			85mm×115mm
	表2.15 固定荷重	<u>L</u>	重い屋根(瓦)
198	表2.15 固定荷重	<u>鋼板</u> 292N/㎡	<u>軽い屋根(鋼板、スレート)</u> 400N/m ²
198	表2.15 固定荷重	スレート 392N/m ²	削除
199	(2) 浅瓦の施工要領	<u>浅</u> 瓦 (3か所)	<u>桟</u> 瓦
199 200	(2)浅瓦の施行要領~ (5)棟 部の施行要領	<u>繋</u> 結線(4か所)	<u>緊</u> 結線
224 303	様式番号	<u>第四号の二</u> 書式	<u>第四号</u> 書式